

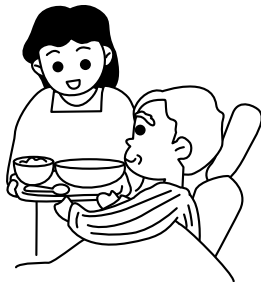
限られた財源でも使い方があれば こんなに みなさんのねがい 実現できます

介護保険料・利用料の減免など

保険料は、第1階層は免除、第2階層を2分の1減額、第3階層は4分の1減額。＜6億1000万円＞

利用料は、訪問介護（新規を含む）は第1階層を免除、所得税（世帯主）非課税世帯は3％に減免。訪問看護、短期入所は、第1階層は免除、第2階層3％、第3階層は6％に減免。＜1億6900万円＞

自立または要支援以上と認定された一人暮らし高齢者などに週4時間のホームヘルパーの派遣。＜5000万円＞



乳幼児医療費助成など 子育て支援

○乳幼児医療費助成、就学前まで所得制限の撤廃。
＜1億1000万円＞

○小中学校に非常勤講師を3カ年計画で配置 1億3400万円

○平和事業（広島、長崎に平和の使者として中学生を派遣） 1400万円



仕事確保など区内業者支援

住宅改良助成の拡充。（区内業者で施工する併用住宅の店舗や自己資金の工事などに助成）

区が債務保証する融資の実現。

商店街一店一品マップ作成費助成、商店街装飾灯の電気代助成4分の3に増額。＜3000万円＞



来年度鈴木区政が削ろうとしている 区民サービスを **全面的に復活**

＜8億7000万円＞

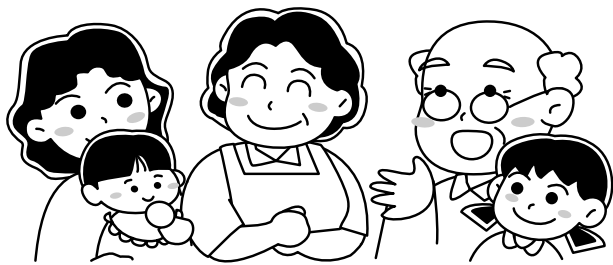


○社会教育施設使用料減免の存続。
○老人クラブ助成金、生きがい奨励金、生業資金、喜寿・米寿の祝い事業、特養ホームの運営費助成を現行どおり復活。

○高齢者福祉手当、現行制度の継続。心身障害者福祉手当を元に戻す

○東綾瀬アイススケート場の存続。夏季プールの期間を現行どおり存続

○区民健診は希望者全員受診とこれまで通りの個別通知実施



一〇〇一年度の予算案などを審議する三月区議会が三月三〇日までの会期で開かれています。長引く不況、年金・医療改悪、欠陥だらけの介護保険などで、いま区民のくらしと営業は本当に大変です。

ところが、鈴木区長の予算案は、毎年黒字がつづき、区民要求にこたえられるだけの余力があるのに、「区財政は赤字でたいへん」という宣伝を繰り返して、区民の願いに背を向け、区民施策を切り捨てました。その一方で、「新たな公共事業は凍結」などと宣伝しながら、千住地域の学校統廃合のための統合新校設立の予算や、問題の多い2・2・2住宅プラン、市街地再開発事業などの開発関連

経費は、予算全体が前年より1・1％減っているのに、5・5％も増やし、大型開発優先の姿勢は変えていません。

日本共産党足立区議団は、「税金の使い方をかえることがいまこそ必要であり、それは十分できる」という立場から、限られた財源を生かし、介護・子育て・中小業者への支援を中心に、予算修正案を予算特別委員会に提案しました。

まずはこれだけは踏み出すべきという最小限の項目にしほり込んでありますが、区がこの方向に踏み出しただけでも、多くの区民の願いに応えるものとなるでしょう。

不要不急の事業予算を削減・先送りし、区民のくらしと営業を応援する

予算修正案を提出 日本共産党

日本共産党

足立区議団ニュース

発行所
日本共産党足立区議団
足立区中央本町1-17-1
足立区役所内
発行責任者 大島芳江
編集責任者 今井重利

みなさんのご意見をおよせ下さい

区議団 TEL 03-3880-5770 FAX 03-3880-5682

財源については？

不要不急の事業の見直しでは、市街地再開発事業の一部を先送り、子どもや親の願いにそわない学校統廃合関連の予算や定期借地方式で期限がきたら家を取り壊す2・2・2住宅プランの用地購入経費のくりのべ、区民の財産を大企業の営利事業に提供する旧本庁舎跡地利用計画の経費を削除する。

また、電力・ガス・NTTなど大企業に道路占用料の応分な負担を求め、議員報酬を10％削減し、積立金をとりくずすなど、合計10億円余の財源を確保しました。

『本当になんとかしてほしい』

2001年度から 廃止・縮小される 主な事業

- ・老人クラブ助成金一律4割削減
- ・生きがい奨励金を商品券にして、75歳以上2000円削減
- ・喜寿の敬老祝いを廃止し、米寿の祝い商品券を6000円削る
- ・敬老入浴券10枚→5枚に
- ・生業資金貸し付けから課税世帯を排除する
- ・区民・高齢者健診から「要医療」の区民を排除
- ・東綾瀬公園アイススケート場の閉鎖
- ・登録団体の社会教育施設使用料の有料化
- ・制度融資の信用保証料補助の区全額負担から一部負担に
- ・高齢者福祉手当、今年度に続き4分の1カット
- ・特養ホーム運営費助成を2割カット
- ・千住地域小中学校5校の統廃合を推進
- ・学童保育料値上げの検討（年度内実施予定）
- ・交通災害見舞金の廃止
- ・夏季プールの期間短縮
- ・学童擁護員配置場所31ヶ所削減
- ・Lソフィア、荒川河川敷駐車場有料化予定
- ・住宅改良助成費を半減

鈴木区政が発表した2001年度予算案で廃止・縮小される施策に区民の悲鳴が上がっています。しかし、この予算はまだ決まったわけではありません。3月議会（1～30日）で審議されます。

「施設使用料の減免制度なくさないで」「会の存続にもかかわります」
次のような社会教育団体から、区議会に請願・陳情が出されています。

○墨翠会 ○親子リズムいちこの会 ○幸齢社会を創る会 ○みつばち親子リズムの会 ○絵手紙梅田の会 ○新日本婦人の会足立支部 ○やよいサークル ○ひなげしの会 ○夢のアイディア手芸の会 ○梅田健康の会 ○新婦人みつばち班絵手紙教室 ○ちぎり絵サークル ○フラダンスサークル ○絵手紙サークル ○ミッキークラブ ○カラオケサークル ○日本舞踏サークル ○卯月会 ○バレエサークルレディース

老人クラブ助成金「4割カット？それは困る」
老人クラブの会長会で助成金が4割減らされると初めて聞いた。大変驚いた。会費を上げるわけにもいかないし、これからどうやって運営すればいいのか。（老人会役員）



「生業資金から閉めださないでほしい」
私たちがみたいな銀行も相手にしてくれない。零細な業者が、店を改装したり、配達の手を買い換えたりする時に、区が直接貸してくれる生業資金がありがたかった。今度は住民税を少しでも納めていると貸してもらえなくなると聞いてびっくりしている。区長は自分で公約した「直貸し融資」もやらないで、生業資金からも閉めだされたのでは、これからどこにすがれというのか。（業者団体役員）



「東綾瀬アイススケート場をなくさないで…」
スケート場が閉鎖されると聞いた利用者。「来季も営業してほしい、との願いを込めて、人々が署名活動を始めました。彼らはこのリンクに通いつめる常連の小学生、中学生たち。大勢がスケートを楽しむ中、滑りたいという気持ちを『グッ』と抑え、交代しながらの活動が続けられています」区民のホームページから」

開発予算はこんなにたくさん

2001年度予算では、大型開発予算はどうなっているのでしょうか。大型開発関連予算の中では、2000年度とくらべて30億7千万円も増額しています。

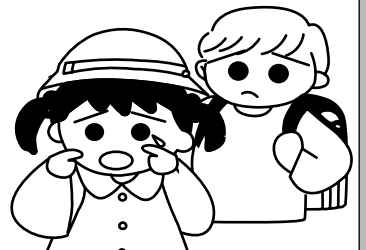
《その主なもの》

- 駅前再開発18億円
- 都市計画道路51億円
- 2・2・2住宅プラン（主に用地購入費）27億円
- 常磐新線青井駅地下自転車駐輪場建設（まだ駅もできていないのに先行してつくる）1.8億円
- 中央本町公園用地取得19億円
- 土地区画整理事業7.6億円

千住地域の統廃合計画 学校をなくさないで下さい

小さな学校がなぜいけないの？勉強だって大きな学校に負けてないよ。みんな力を合わせて頑張っているし、みんな仲良しだよ

（柳原小5年・女子）



日本共産党演説会 4月13日(金) 午後7時 西新井文化ホール



参議院議員
緒方靖夫



都議会議員
渡辺やすのぶ

私たちもお話します